

動物実験に関する検証結果報告書

同志社女子大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2024年3月

同志社女子大学  
学長 小崎 眞 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 三好 一郎



対象機関：同志社女子大学  
申請年月日：2023年7月25日  
訪問調査年月日：2023年12月12日  
調査員：中井伸子、久保 薫

#### 検証の総評

同志社女子大学は、京田辺、今出川の両キャンパスに学芸学部、現代社会学部、薬学部、看護学部、表象文化学部、生活科学部の6学部11学科1専攻科5研究科を有する総合大学である。動物実験は薬学部及び生活科学部において主にげっ歯類（マウス、ラット）を対象に実施されている。動物実験は、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」と文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則して定められた「同志社女子大学動物実験等実施規程（以下「動物実験規程」という。）」に従って、学長の下に組織された動物実験委員会を中心とした体制で適正に実施されている。動物実験計画の審査システムを導入し、審査の効率化を図るなど、管理体制の向上にも努めている。今後は、公私立大学実験動物施設協議会（以下「公私動協」という。）などより入手した最新の情報を積極的に活用し、引き続き適正な動物実験の実施に向け努力するとともに施設の良い状態を維持された

い。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。
<input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験規程及び「同志社女子大学動物実験委員会規程（以下「委員会規程」という。）」が定められており、その内容は飼養保管基準、基本指針に則したものである。前回の外部検証で指摘された管理者、実験動物管理者、動物実験実施者等の定義や役割は明記され改善されている。したがって、機関内規程について、「機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針に適合する機関内規程が定められている。」とする。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
<input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
今後、公私動協が公開する最新の機関内規程（雛形）を参考に継続的な改訂に努められたい。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。
<input checked="" type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験規程の下、委員会規程が定められ、基本指針で求められる3要件の委員を含んだ動物実験委員会が組織されている。したがって、動物実験委員会について、「動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。」とする。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。
<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。

4) 改善に向けた意見

動物実験委員会の構成について、実験動物に関して優れた識見を有する者を複数名にすることを検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験規程において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、動物実験計画書をはじめ、前回指摘された「動物実験結果報告書」「飼養保管施設設置承認申請書」「実験室設置承認申請書」「施設等廃止届」を含め各種様式が制定されている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

委員会で 3Rs や安楽死などが具体的に審査できるよう、動物実験計画書の様式を工夫されたい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「同志社女子大学遺伝子組換え実験安全管理規程」「同規程細則」「同志社女子大学化学物質管理規程及び同実施要項」「薬学部教育研究における防災安全の手引き」等、必要な規程等が制定され適切に運用されている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。

該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

学内で実施しない（できない）実験については規程の条文や計画書の選択肢から削除するか、禁止の旨を規程等に明記することが望ましい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

「薬学部動物実験施設利用マニュアル」「生活科学部動物実験施設利用マニュアル」「動物実験施設における災害対策マニュアル」「災害発生時対応 2021【教職員用】」が整備されている。飼育管理は主に教員と学生で実施している。大型オートクレーブの設置が完了しており、ケージ転落防止装置の設置が 2023 年度内に完了予定である。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管体制である。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

公私動協が公開する最新の雛形を参考に飼養保管施設に特化した内容の緊急時の対応マニュアルの作成を検討されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

同志社女子大学は 2016 年度に外部検証を受け、今回 2 回目であるが規程及び体制等の見直しが進められ、前回指摘された点は改善されている。

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>2020年に審査システムを導入しており、動物実験計画書の審査を含めて、委員会が適正に機能している。したがって、動物実験委員会の活動状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「基本指針に適合し、適正に機能している。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験計画書を却下する場合など、一部の委員会審査について議事録の保存に改善の余地も見られるため、審査システム等の工夫により審査の経緯を整理するとともに議事録として記録・保存することを検討されたい。</p>

### 2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>学生実習を含めてすべての動物実験計画は委員会で審査され、学長により承認されている。動物実験終了報告書及び動物実験の自己点検票は100%提出されていた。したがって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>他機関との共同研究においては、事前に動物実験計画の審査結果を確認できる手続きを定めておくことが望ましい。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>両キャンパスに大型及び小型オートクレーブが設置され、毎年、業者により点検されている。遺伝子組換え実験については、動物実験計画書の「遺伝子組換え実験安全委員会の承認の有無」欄で遺伝子組換え実験として承認されている。また、事故等の発生は報告されていない。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果であるが、「該当する動物実験が適正に実施されている。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>げっ歯類は生産業者から SPF 動物を購入もしくは施設内で繁殖され、委託により微生物モニタリング検査が実施されている。一部の飼育管理業務は専門業者へ業務委託されているが、実験動物は主に教員と学生で適切に飼養保管されている。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>実験動物管理者及び動物実験委員会が飼養保管状況を把握する際、飼育履歴等に関する記録台</p>

帳の様式を作成し、活用することを検討されたい。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設は、カードキーあるいは施錠することで関係者以外の立ち入りを制限している。空調等にかかる設備は、整備点検を定期的実施している。オートクレーブは年1回定期点検を行い、劣化が指摘された部品については、交換等の対応を行っている。したがって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 4) 改善に向けた意見

飼養保管施設及び飼養保管施設内以外の実験室を良好な状態で維持するため、動物実験委員会による定期的な視察などを検討されたい。

#### 6. 教育訓練の実施状況

##### 1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

##### 2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験実施者には公益社団法人日本実験動物協会制作DVD「やさしい動物実験手技」の視聴、動物実験の倫理、動物実験施設の利用方法などの動物実験実施者プログラムに沿って教育が実施され、記録もされている。教育訓練を受講後の個人には認定書番号が付与され、動物実験計画書に付記することが義務づけられている。また、実験動物管理者は、公私動協の講習会等に参加するなどして、適切に情報収集に努めている。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

##### 3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

同志社女子大学のホームページに国動協及び公私動協が求める情報公開項目が公開されている。自己点検・評価報告書は2011年度分より公開されており、毎年度、自己点検・評価し情報公開を行う体制が確立されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。

日実動学-外検発 第R6-33号-証

# 検証実施証明書

同志社女子大学  
学長 小崎 眞 殿

貴機関は 公益社団法人日本実験動物学会  
外部検証委員会による「動物実験に関する  
外部検証事業」による自己点検・評価を行い  
その結果に対する検証を本委員会が実施した  
ことを証します

2024年3月10日

公益社団法人日本実験動物学会  
理事長 三好 一郎



No.2023-33

Japanese Association for Laboratory Animal Sciences



## CERTIFICATE

President Prof. Makoto Kozaki  
Doshisha Women's College of Liberal Arts

Dear President

In every Japanese institution under the jurisdiction of Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, MEXT, self-inspections and evaluations for the conduct of animal experiment and related activities must be verified by a third party, independent of the research institution concerned.

Japanese Association for Laboratory Animal Science (JALAS) certify that Doshisha Women's College of Liberal Arts received "Assessment and Verification Program for Care and Use of Laboratory Animals in 2023".

Sincerely yours

10 March, 2024

A handwritten signature in black ink, reading "Ichiro Miyoshi".

Ichiro Miyoshi DVM PhD  
DJCLAM  
President  
JALAS

A handwritten signature in black ink, reading "Chihiro Koshimoto".

Chihiro Koshimoto PhD  
Chairman  
Assesment and Verification  
Committee, JALAS